

2. 算定方法

1) 算定の条件

滑走路処理容量算定で用いた諸数値

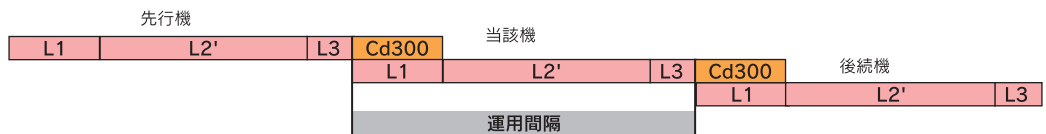
	記号	値	
PIステップ1公表値	進入速度のばらつきに対する安全間隔	L1	30秒
	滑走路進入端を通過して着陸滑走路縁を通過するまでの時間(着陸機滑走路占有時間)	L2	52秒
	統計的分散を考慮して補正(標準偏差値の2.6倍を加算)した後の着陸機滑走路占有時間	L2'	69秒
	滑走路縁から着陸帯を通過するまでの安全間隔	L3	15秒
	離陸許可から出発までの所要時間	T1	15秒
	離陸開始から滑走路末端通過までの所要時間(離陸機滑走路占有時間)	T2	34秒
今回設定値	先行機とのレーダー間隔確保のための出発待機時間	T3	45秒
	着陸機が着陸滑走路の着陸帯通過後、離陸滑走路横断に要する時間(滑走路間隔300m)	Cd300	30秒(新)
	着陸機が着陸滑走路の着陸帯通過後、離陸滑走路横断に要する時間(滑走路間隔210m)	Cd210	18秒(新)
	離陸機の着陸滑走路(着陸帯含む)横断所要時間(走行時反応時間含む)(滑走路間隔300m)	Ca300	64秒(新)
	離陸機の着陸滑走路(着陸帯含む)横断所要時間(滑走路間での停止無し)(滑走路間隔300m)	Ca300'	54秒(新)
	離陸機の着陸滑走路(着陸帯含む)横断所要時間(走行時反応時間含む)(滑走路間隔210m)	Ca210	54秒(新)
	離陸機が離陸滑走路を横断するのにかかる時間(走行時反応時間含む)	Cd	44秒(新)
	離陸機が着陸滑走路の着陸帯通過後、離陸滑走路横断に要する時間(滑走路間隔210m)	Cd210	18秒(新)
	着陸滑走路横断機と最終進入機との安全間隔(滑走路末端から進入機までの距離)		2NM(新)
	上記安全間隔の時間換算(進入機を120ktとして計算)	Caf	60秒(新)
	着陸機が滑走路末端を通過して接地し着陸が確認されるまでの時間	Ltd	12秒(新)
	着陸機が滑走路末端を通過して着陸滑走路横断待機機の前を横切るまでの時間	Lps	8秒(新)

滑走路処理容量

帯図の実例

例1

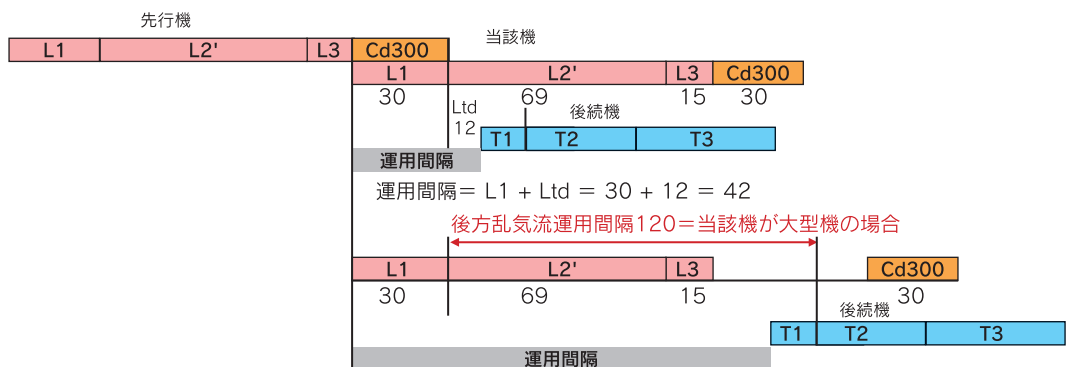
到着 - 到着 - 到着



運用間隔 = $L1 + L2' + L3$ or $120 = 114$ or 120 (120は先行機が大型機の場合)

例2

到着 - 到着 - 出発



運用間隔 = $L1 + 120 - T1 = 135$